

1年

練馬区立開進第四中学校

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
1	4月	【C(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実】 中学校生活について考える	新しく始まる中学校生活は今までとはどのように違うかを考え、どのように送っていくかを考え、集団の中での自分の役割を考え、学校生活や集団をよりよくするために主体的に行動することの大切さについて考えさせ、自分も積極的に関わろうとする実践意欲と態度を育てる。	1年間の道徳科の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことを考える 1 小学校のときの道徳の学習を振り返る。 2 教科書6～11ページを読んで、これからの道徳授業の見通しをもつ。 3 四つの視点に分類して、気づいたことを発表する。 ◎この1年間で、特に考えていきたい、学んでいきたい、もっと伸ばしていきたいと思うキーワードを選び、それを選んだ理由をグループで紹介し合う。 ○教科書10・11ページの「道徳 道案内」を読んで、1年間の学習のまとめりやテーマを確認しましょう。
2	4月	【B(6)思いやり, 感謝】 2 父の言葉	黒柳徹子さんが福祉やユニセフに携わる出発点となった少女時代の出来事を描いた文章を通して、他者への思いやりについて考えさせ、思いやりのある行動をしようとする実践意欲と態度を育てる。	相手のことを考えて行動するときに必要なのは、どんなことか考える。 1 親切にしたいと思ったのに、できなかったことはないかを振り返る。 2 「父の言葉」を読んで考える。 3 「行ってお話してあげなさい。」という父の言葉を聞いて、「私」は、どんなことを思ったのか考える。 4 相手のことを考えて行動するときに必要なのは、どんなことか考えて発表する。
3	4月	【A(1)自主, 自律, 自由と責任】 3 自分で決めるって？	部活動や定期テスト、新たな人間関係など、入学時に直面する中学校生活特有の場面から、自主、自律の意識をもつことの大切さについて考えさせ、自分の責任で物事を決定しようとする判断力や心情を育てる。	自分で何かを「決める」ときに大切なのは、どんなことか考える。 1 自分で考え、行動しているかを振り返る。 2 「自分で決めるって？」を読んで考える。 3 皆さんにも、AさんやBさんのような経験はありますか。グループになって経験を出し合って、何かを決めるときには、どのように判断していくのがよいか、考える。 4 あなたが「私」だったら、どのように判断して、行動するか話し合う。 5 自分で何かを「決める」ときに大切なのは、どんなことか、記入する。
5	5月	【B(7)礼儀】 4 学習机	新入社員が起こした仕事上のトラブルとその解決までを描いた物語を通して、社会生活を送るうえでの責任感や礼儀の大切さについて考えさせ、時と場に応じた行動をしようとする実践意欲と態度を育てる。	人と関わるときに必要な礼儀の心とは、どんなものか考える 1 礼儀について、今の自分の考えを出し合う。 2 「学習机」を読んで考える。 3 「私」のどんな考えが、お客さま(父親)を怒らせてしまったのか考える。 4 どんなことを思って、「私」は、もう一度、頭を下げたのか考える。 5 人と関わるときに必要な礼儀の心とは、どんなものか話し合う。
6	5月	【A(2)節度, 節制】 5 「養生訓」より	「養生訓」を取り上げた漫画を通して、健やかな体を養うために節度や節制のある生活を送ることの大切さを考えさせ、心と体の健康を考えて生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	自分の生活を見直す。 1 毎日を健康に過ごしているかを振り返る。 2 「『養生訓』より」を読んで考える。 3 友香は、どんな自分の弱さに気がついたのか考える。 4 自分が健康であるために、自分の「養生訓」を作ってみる。 5 自分の「養生訓」を作ったり、友達の「養生訓」を見たりして、あなたは、どんなことを考えたか記入する。
7	5月	【B(6)思いやり, 感謝】 6 席を譲ったけれど	中学生が高齢者に電車で席を譲ったときに起こったトラブルを記した投稿と、その投稿に対する複数の立場からの反響を通して、他者への思いやりについて考えさせ、思いやりの心をもって行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	人を思いやるときに大切なことは、何か考える。 1 「思いやり」についての考えを出し合う。 2 「席を譲ったけれど」を読んで考える。 3 この中学生が、❶から❸の投稿を読んだら、どんなことを思うか考える。 4 思いやりの心をもって他者と接するとは、どういうことか話し合う。 5 人を思いやるときに大切なことは、何か記入する。
8	6月	【B(8)友情, 信頼】 7 親友	異性の友達と友情を育んできた生徒の物語を通して、性別等にとらわれない友情関係や信頼関係について考えさせ、友達を大切にしようとする実践意欲や態度を育てる。	心から信頼できる友達とは、どんな存在なのか考える。 1 自分にとって、親友とはどんな人かを考える。 2 「親友」を読んで考える。 3 6年生のとき、「僕」が「美咲は僕の親友だ。」と思ったのは、どうしてか考える。 4 「美咲を見つめ、その場に突っ立っていた」とき、「僕」は、どんなことを思っていたか考える。 5 心から信頼できる友達とは、どんな存在なのか、話し合う。
9	6月	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 8 魚の涙	魚類学者でタレントのさかなクンが著したいじめに対するメッセージを通して、社会や集団からいじめをなくしていくために行うべきことについて考えさせ、社会正義を実現しようとする実践意欲と態度を育てる。	誰かが不公平な状況にあるとき、自分はどんな考えがもてるか考える。 1 さかなクンを紹介する。 2 「魚の涙」を読んで考える。 3 いじめの子たちに、「なんで？」ときけなかった「僕」の心の中を想像し記入する。 4 「僕」は、どんな思いから、「広い空の下、広い海へ出てみましょう。」と言ったのか話し合う。 5 誰かが不公平な状況にあるとき、自分は、どんな考えがもてるか話し合う。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
10	6月	【C(11)公正、公平、社会正義】 9 いつもの教室の中で	AからDの立場で、同じいじめの場面を見た漫画を通して、いじめが起こらないようにするためにどうすればよいのかを考え、社会をよりよいものにするために、自分の立場に目を向け、公正であろうとする実践意欲と態度を育てる。	いじめが起こらないようにするためには、どうすればよいのか考える。 1 教室で友達とつい悪ふざけをしすぎてしまった経験がないか、振り返る。 2 「いつもの教室の中で」を読んで考える。 3 ㉓の場面で、Aさんは、どうしてBさんたちに「やめて。」と言えないのか考える。 4 いじめを見て、はやし立てているCさんは、㉓の場面で、どうして「笑うしかない。」のでしょうか。「だって…。」という言葉の後を考え、記入する。 5 「何も言えない。」と感じているDさんが、㉓の場面で、「関わらないほうがいいから。」「私だけじゃないし。」と思うのは、どうしてか寛会える。 6 このような状況を起こさないためには、どんな考えをもつことが大切なのか話し合う。
11	7月	【A(5)真理の探究、創造】 10 レtas博士	親友の樹里がレtasの研究に取り組む姿やそれを誇らしく感じる「私」が描かれた教材を通して、真理を探究する心について考えさせ、好奇心をもって真実を求め、新しいものを生み出そうとする心情を育てる。	真理を探究する心について、考える。 1 これまでに、何かを知りたい、追究したいと思った経験を出し合う。 2 「レtas博士」を読んで考える。 3 初めは乗り気ではなかった「私」が、レtasの変化を心待ちにするようになったのは、「私」の心にどんな変化があったからか考える。 4 「私」は、樹里のどんなところを誇らしく感じたのか記入する。 5 真理を探究する心について、話し合う。
12	7月	【C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実】 11 みんなで成功させよう	文化祭の活動でさまざまな立場や考え方が描かれた教材を通して、それぞれの問題点、リーダー、フォロワーにとって大切なことについて考えさせ、役割と責任を自覚し、協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる。	よりよい集団の一員であるためには、どんな考えが大切なのか考える。 1 これまでに、集団で充実した活動ができた経験を振り返る。 2 「みんなで成功させよう」を読んで考える。 3 よりよい集団として活動していくために、リーダーとフォロワーは、それぞれ、どのような役割を果たせばよいのか、ステップに沿って、考える。 4 ㉑信悟のグループのメンバーの現状を確認する。 5 ㉒㉓で洗い出したことをもとに、リーダー、フォロワーとして、どんな行動が取ればよかったのかを話し合う。 6 リーダーとフォロワーの理想像を導き出す。
13	7月	【D(19)生命の尊さ】 12 ひまわり	東日本大震災、阪神・淡路大震災を巡る実話を通して、生命の尊さについて考えさせ、自他の命を大切にしていこうとする心情を育てる。	私たちは、命のどんなところに尊さを感じるのか考える。 1 東日本大震災について、知っていることを出し合う。 2 「ひまわり」を読んで考える。 3 清和さんが、「いのちの歌」を聴いてもらうようにしているのは、どんな思いがあるからか考える。 4 命について考えたことを、話し合う。 5 私たちは、命のどんなところに尊さを感じるのだと思うか記入する。
14	○1学期を振り返った評価(4～7月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意義や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。			
15	9月	【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 13 夢を諦めない——「ねぶた師」北村麻子	初の女性ねぶた師・北村麻子さんが、夢を抱き、実現していく姿を描いた文章を通して、夢をかなえるために大切なことは何かについて考えさせ、夢や目標に向かい、困難を乗り越え、希望をもってやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。	夢をかなえるために大切なことは、何か考える。 1 自分の夢や目標を発表し合う。 2 「夢を諦めない——『ねぶた師』北村麻子」を読んで考える。 3 弟子入りを許されなかった麻子が、作業場に通い続けたのは、どんな思いがあったからか考える。 4 「夢を諦めなくて、よかった。」という麻子の言葉には、どんな思いが込められているか考える。 5 夢をかなえるために大切なことは、何か話し合う。
16	9月	【A(3)向上心、個性の伸長】 14 見方を変えたと	リフレーミングのグループワークを通して、個性を伸ばすために大切なのは、どんなことかを考えさせ、自己を見つめ直し、短所も含めた自分の個性を肯定的に捉え伸ばしていこうという実践意欲と態度を育てる。	個性を伸ばすために大切なのは、どんなことか考える。 1 自分の短所と長所を思い浮かべてみる。 2 「見方を変えたと」を読んで考える。 3 (リフレーミングをして)自分への見方を変えてみて、どんなことを考えたか記入する。 4 自分が短所だと思っていた部分をリフレーミングすると、どんないいことがあるか話し合う。 5 個性を伸ばすために大切なのは、どんなことか記入する。
17	9月	【A(1)自主、自律、自由と責任】 15 裏庭での出来事	友達の判断に流され、ガラスを割ったことを正直に言えなかったことに悩む健の姿を通して、自分の行動に責任をもつとはどういうことかについて考えさせ、自ら考え、誠実に行動し、その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。	自分の行動に責任をもつとは、どういうことか考える。 1 「しまった！」と思うような失敗をして、つい隠してしまった経験がないか、振り返る。 2 「裏庭での出来事」を読んで考える。 3 松尾先生が来たとき、自分もガラスを割ったことを言わなかった健の心の中を想像し、記入する。 4 一人で職員室へ向かっているとき、健はどんなことを考えていたか考える。 5 自分の行動に責任をもつとは、どういうことか話し合う。
18	9月	【D(20)自然愛護】 16 「ソーセージ」の悲しい最後	観光客の身勝手な餌やりが原因で駆除されてしまったヒグマのエピソードを通して、人と自然がよりよい関係を築くためにはどんな考えが必要かについて考えさせ、人間と自然とのよりよい関わり方を求め、自然を尊重しようとする判断力を育てる。	人と自然がよりよい関係を築くためには、どんな考えが必要か考える。 1 ニュースなどで、野生動物に関わる問題で知っていることを発表する。 2 「『ソーセージ』の悲しい最後」を読んで考える。 3 観光客は、どんな気持ちからヒグマにソーセージを与えたのか考える。 4 「ソーセージ」のように悲しい最後を迎える動物たちをなくすために、私たちは、どんな考えをもち、どんな行動を取ればよいのか、話し合う。 5 人と自然がよりよい関係を築くためには、どんな考えが必要か話し合う。
19	10月	【B(9)相互理解、寛容】 17 わかり合うために	街中で無視されたと憤るAさん、友達にないがしろにされたと落ち込むBさんの事例を通して、自分と異なる他者とわかり合うことについて考えさせ、一方的な見方で判断せず、相手の立場や考えを理解・想像し、尊重しようとする判断力を育てる。	自分と異なる他者とわかり合うことについて、考える。 1 もっと自分の立場に立って考えてほしいのと思ったことはないか、振り返る。 2 「わかり合うために」を読んで考える。 3 ㉑に描かれているXさん・Yさん、㉒に描かれているZさんの行動の背景には、それぞれ、どんな理由があるか、なるべく多く想像して発表する。 4 AさんとBさんが、Xさん・Yさん、Zさんの行動の理由を想像していたら、㉑と㉒、それぞれの最後のコマでは、どんな気持ちになっていたか、記入する。 5 人との関わりの中で、相手の行動の背景を想像することには、どんなよさがあるか話し合う。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
20	10月	【A(2)節度、節制】 18 使いすぎて、ということ？ (まなびをプラス)	スマートフォンやタブレット端末の使い方についてのグループワークを通して、節度ある端末の使い方について考えさせ、節度を守り、節制の意義を考え、それを心がけようとする実践意欲と態度を育てる。	節度ある端末の使い方について、考える。 1 スマートフォンやタブレット端末の使い方を振り返る。 2 「使いすぎて、ということ？」を読んで考える。 3 スマートフォンやタブレット端末の使い方について考える。 4 スマートフォンやタブレット端末の使い方において、「節度を守る」とは、どういうことか話し合う。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
21	10月	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 19 僕の家族、地球の家族	世界を旅し、さまざまな家族と出会ってきた長倉洋海さんの文章を通して、家族について考えさせ、自分なりに家族に対する考えをもとうとする心情を育てる。	家族について、考える。 1 家族に対して反発したり、素直になれなかったりして後悔した経験はないかを振り返る。 2 「僕の家族、地球の家族」を読んで考える。 3 いちばん心がひかれた写真はどれか。どうしてそれに心がひかれたと思うか発表する。 4 世界の家族を見て、長倉さんは、家族に対して、どんな思いを抱くようになったか考える。 5 あなたは、家族とは、どんなものだと考えるか記入する。
22	10月	【C(12)社会参画、公共の精神】 20 初めてのボランティア	初めてのボランティアで、喜びや達成感を得た日菜の物語を通して、ボランティアなどを通して社会に関わることで得られるものは何かについて考えさせ、社会参画の意識と社会連帯の大切さについて考えようとする心情を育てる。	ボランティアなどを通して社会に関わることで得られるものは、何か考える。 1 ボランティア活動に参加した経験を振り返る。 2 「初めてのボランティア」を読んで考える。 3 「ボランティアなんて……。」とつぶやいたとき、「私」は、どんなことを思っていたか考える。 4 「はい！」と大きな声で返事ができたのは、「私」のボランティアに対する考えが、どう変化したからか考える。 5 ボランティアなどを通して社会に関わることで得られるものは、何か話し合う。
23	11月	【D(19)生命の尊さ】 21 動物の命——私たちにできること	犬や猫の殺処分や保護の活動に関する三つの資料を通して、身近な生き物の命について考えさせ、かけがえのない命を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	身近な生き物の命について、考える。 1 身近な動植物で、命を守りたいと感じたものについて発表する。 2 「動物の命——私たちにできること」を読んで考える。 3 資料1、2を読んで、あなたは、どんなことを考えたか発表する。 4 信沢さんは、どんな思いで、保護犬の引き取りや新しい飼い主を探す活動に取り組んでいるか考える。 5 身近な生き物の命について、考え、発表する。
24	11月	【C(10)遵法精神、公德心】 22 仏の銀蔵	高利貸しの男とその男から金銭を借りていた人々の昔話を通して、法やきまりを守る心について考えさせ、法やきまりの自律的な捉え方を意識し、法やきまりを守ろうとする自尊心を大切に作る心情を育てる。	法やきまりを守る心について、考える。 1 「高利貸し」と「証文」の意味を確認する。 2 「仏の銀蔵」を読んで考える。 3 銀蔵は、どんな思いで証文つづりを捜し続けたのか考える。 4 「そうか、お天道様か。」と膝を打ったとき、銀蔵は、どんなことに気づいたのか話し合う。 5 法やきまりを守る心について、考え、発表する。
25	11月	【C(10)遵法精神、公德心】 23 白いスニーカー(まなびをプラス)	部の暗黙のきまりを巡るさまざまな意見を通して、きまりについて考えさせ、自他の権利を大切にしたいよりよいきまりの在り方を求めようとする実践意欲と態度を育てる。	きまりについて、考える。 1 どうしてこんなきまりがあるのか考えると、疑問に思ったことはないかを振り返る。 2 「白いスニーカー」を読んで考える。 3 それぞれの人物は、どんな考えなのか、確認する。 4 それぞれの人物の考えに対して、どんなことを考えたか、考えたことを話し合う。 5 話し合いを通して、あなたは、きまりについて、どんなことを考えたか記入する。
26	11月	【C(13)勤労】 24 私が働く理由	がん患者専門の美容師やごみ削減の啓発活動に取り組む清掃職員の仕事への思いや考え方などを通して、人が働く理由とはどのようなものかについて考えさせ、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようとする心情を育てる。	人が働く理由とは、どのようなものか考える。 1 職業選択のときにどんなことを重視するかについてのアンケート結果を知る。 2 「私が働く理由」を読んで考える。 3 三田さんの言う「美容の力」とは、どのようなものか考える。 4 佐藤さんと及川さんの仕事をしていくうえでの原動力とは、何だと思うか話し合う。 5 人が働く理由とは、どのようなものか、記入する。
27	12月	【B(9)相互理解、寛容】 25 私の話を聞いてね	右手に障害がある女性がインターネット上に発信したメッセージを通して、人と人とがわかり合うために大切なことは何かについて考えさせ、自分の考えを相手に伝え、それぞれの個性を尊重していこうとする実践意欲と態度を育てる。	人と人とがわかり合うために大切なことは、何か考える。 1 インターネットへの書き込みを読んで、勇気づけられたな、とてもいい考えだなと思ったことがないか、振り返る。 2 「私の話を聞いてね」を読んで考える。 3 ペイジさんが、インターネットに投稿しようと思ったのは、どんな考えからか、考える。 4 「子供たちに質問をさせてあげてください。」というペイジさんの言葉には、どんな思いが込められているか考える。 5 人と人とがわかり合うために大切なことは、何か話し合う。
28	12月	【C(11)公正、公平、社会正義】 26 差別の根底にあるものは？	過去にハンセン病に向けられた差別について書かれた記事を通して、差別や偏見のない社会を目指して、自分たちにできることは何かを考えさせ、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。	差別や偏見のない社会を目指して、私たちにできることは、何か考える。 1 新型コロナウイルス感染症について知る。 2 「差別の根底にあるものは？」を読んで考える。 3 「怖いのは、病気そのものではなく、世間の雰囲気や社会の空気。」というのは、どういうことが話し合う。 4 繰り返し起こる差別や偏見に打ち勝つために、私たちに必要なのは、どんな考えか話し合う。 5 差別や偏見のない社会を目指して、私たちにできることは、何か記入する。
29	12月	【C(18)国際理解、国際貢献】 27 むこう岸には	川の兩岸に住む肌の色や髪の毛、服装が異なる少女と少年の物語を通して、他国の人と理解し合うために大切なのはどんな心かを考えさせ、他国で生きる人と互いに尊重し合い、世界の平和を大切にしようとする心情を育てる。	他国の人と理解し合うために大切なのは、どんな心か考える。 1 身近にある差別や偏見の問題について、知っていることを共有する。 2 「むこう岸には」を読んで考える。 3 男の子が手を振ってきたとき、「私」は、どんな気持ちで「別の方を見てやった」のか考える。 4 この川に橋を架けるためには、どんな考えが必要だと思うか話し合う。 5 他国の人と理解し合うために大切なのは、どんな心か記入する。
30	○2学期を振り返った評価(9～12月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意味や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。			

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
31	1月	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】 28 レオナルドと僕	和菓子の職人として働く外国人の友人と「僕」が伝統文化について語り合う物語を通して、伝統を受け継いでいくためにはどんな考えが大切なのかについて考えさせ、伝統を継承し、新しい文化の創造に寄与しようとする心情を育てる。	伝統を受け継いでいくためには、どんな考えが大切なのか考える。 1 日本の伝統と文化の中で、興味をもっているものや次世代に受け継ぎたいと思うものを挙げる。 2 「レオナルドと僕」を読んで考える。 3 「『危機』なんて、少し大げさなんじゃない？」という言葉には、新のどんな考えが表れているか記入する。 4 新は、レオナルドのどのような考え方に、「一本取られた」気持ちになったのか考える。 5 伝統を受け継いでいくためには、どんな考えが大切なのか話し合う。
32	1月	【D(19)生命の尊さ】 29 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」	死を迎えようとする老人とそれを見守る家族を描いた文章と写真を通して、「生きる」とはということかを考えさせ、尊厳ある生と死の在り方について考えていこうとする心情を育てる。	「生きる」とは、ということか考える。 1 「最後の贈りもの」と聞くと、どんなものを思い浮かべるか、発表する。 2 「エルマおばあさんからの『最後の贈りもの』」を読んで考える。 3 大塚さんがエルマおばあさんの写真を撮ると思ったのは、どんな思いがあったからか考える。 4 エルマおばあさんが、みんなにくれた「最後の贈りもの」とはどのようなものか、記入する。 5 「生きる」とは、ということか話し合う。
33	1月	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】 30 自分の地域の「宝」って？	郷土への思いが込められた歌「島人ぬ宝」や資料を通して、自分の暮らす地域に目を向けさせ、地域や郷土にあるよさに気づき、それらを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	自分の暮らす地域に目を向けよう。 1 (まなびの準備)自分が暮らす地域の特長を思い浮かべる。 2 「自分の地域の『宝』って？」を読んで考える。 3 「島人ぬ宝」の歌詞を作るのに関わった人たちは、自分が暮らす地域に対して、どんな思いを抱いているか。「島人ぬ宝」や「資料」を読んで、想像し、発表する。 4 自分たちが暮らす地域の「宝」とは、どんなものか。イメージマップなどを使ってグループで出し合い、「宝」だと思ふ理由も話し合う。 5 自分たちが暮らす地域の「宝」が「宝」であり続けるために、自分たちや地域の人々は、どんなことができると思うか、記入する。
34	2月	【D(22)よりよく生きる喜び】 31 銀色のシャープペンシル	友達のシャープペンシルを自分のものにしてしまったことを言いだせなかった主人公の姿を通して、心の弱さを乗り越えさせるものとは何かについて考えさせ、自身の弱さを乗り越えて人として誇りをもって生きようとする判断力を育てる。	心の弱さを乗り越えさせるものとは、何か考える。 1 友達に何かを指摘されて、素直に認めることができなかった経験を振り返る。 2 「銀色のシャープペンシル」を読んで考える。 3 シャープペンシルを卓也のロッカーに突っ込んだとき、「僕」はどんなことを思っていたか。考えて発表する。 4 「僕」は、どんな思いで卓也の家に向かったのか、考える。 5 心の弱さを乗り越えさせるものとは、何か話し合う。
35	2月	【D(21)感動、畏敬の念】 32 命の木	屋久島の原生林に触れた筆者の思いを通して、人の感動の源にあるものを見つめさせ、人が、人間の力を超えたものを前に心動かされるその思いを大切にしようとする心情を育てる。	感動の源にあるものを見つめよう。 1 自然に対して感動した経験を想起する。 2 「命の木」を読んで考える。 3 教科書158ページの縄文杉の写真を見て、感じたことを発表する。 4 「私」は、どんな思いを込めて、屋久杉を「命の木」とよんだのか考える。 5 感動の源にあるものを見つめ、記入する。
36	2月	【D(21)感動、畏敬の念】 33 「感動」の本質を探ろう(まなびをプラス)	自身の感動の経験を深く語り合うことを通して、「感動」の本質を考えさせ、「感動」を自分の生き方を豊かにすることにつなげようとする実践意欲と態度を育てる。	「感動」の本質について友達といっしょに考え、自分の生き方を豊かにすることにつなげよう。 1 写真を見て、これまでに自分が感動したものや出来事について振り返る。 2 「『感動』の本質を探る」を読んで考える。 3 思い出したものや出来事のどんなところに、自分は感動したのか記入する。 4 「感動」とはどのようなものか、その本質を探る。 5 「感動」の本質についてみんなで考えた結果、新たに発見したのは、どんなことか発表し合う。 6 「感動」の本質を考えたことで、自分たちの生活には、どんな変化が起こるか考える。
37	3月	【D(22)よりよく生きる喜び】 34 撮れなかった一枚の写真	フォト・ジャーナリストの吉田ルイ子さんがベトナム戦取材中に抱いた葛藤を記した文章を通して、人としてよりよく生きるとはということかを考えさせ、自分の心と向き合い、弱さを乗り越え、自分らしく生きようとする心情を育てる。	人としてよりよく生きるとは、ということか考える。 1 「よりよく生きる」とはということか、具体的に考えてみる。 2 「撮れなかった一枚の写真」を読んで考える。 3 シャッターの上に指を乗せたときの、吉田さんの心の中を想像し、記入する。 4 「プロのフォト・ジャーナリストである前に、私は一人の普通の人間でありたい。」という言葉には、吉田さんのどんな思いが込められているか話し合う。
38	3月	【内容項目を限定しない】 35 一年間の学びを振り返ろう	これまで記入した「まなびの記録」や「ありがとう」の詩をもとに、1年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	この1年間で学んだことを振り返る。 1 第1教材を見ながら、本時の目的を確認する。 2 「まなびの記録」を見返し、1年間の道徳の授業を振り返る。 3 この1年間で、特に心に残った学びを三つ挙げ、どうして心に残ったのかを書いてみる。 4 自分はこの1年間でどのように成長したか、今の自分を見つめる 5 これからの自分について考える 6 「ありがとう」のメッセージを作る。
		○3学期を振り返った評価(1～3月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意義や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。		